

事務事業名 病後児保育事業		所属部 子ども政策局	所属課 子ども政策課
総合計画体系	政策名 (Ⅲ)支えあい健やかに暮らせるまち《保健・医療・福祉》	所属G 教育・保育グループ	課長名 狩野 明芳
	施策名 (26)子育て支援の充実	担当者名 坂田 洋一	電話番号 0854-40-1044 (内線) 2252
	目的 対 子どもの保護者と産み育てたい 意図 安心して子育てができる。	予算科目 会計 款 大事業 大事業名 0 1 1 5 0 2 児童福祉総務管理事業 項目 中事業 中事業名 1 0 0 5 0 6 病後児保育事業	
	基本事業名 (078)子育てと仕事の両立支援 目的 対 保護者 意図 仕事と子育てを両立できる。		

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (21 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
事業内容 病気の回復期にあり、かつ、集団保育が困難な期間において、当該児童を専用施設(だいたい病後児保育室、三刀屋病後児保育室)及び保育所内(掛合保育所)で一時的に預かる事業。(看護師:常時配置、保育士:児童数に応じ配置) 利用料金:1,500円/日(食事なし1,200円/日) 対象児童:乳幼児から小学校6年生までの児童

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	29年度実績(29年度に行った主な活動) ・業務委託契約締結、委託料支払い、委託先との協議、申込受付、決定、利用料徴収、施設維持管理	30年度計画(30年度に計画する主な活動) 業務委託契約締結、委託料支払い、委託先との協議、申込受付、決定、利用料徴収、施設維持管理 ◎だいたい病後児保育室→だいたい病児・病後児保育室に拡充				
	② 活動指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
ア	登録児童数	人	84	150	135	180
イ	実施施設数	施設	2	3	3	3
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)		
	病気の回復期にある乳幼児から小学校6年生までの児童とその保護者		ア	利用者数	人	229	416	292	350
			イ						
		ウ							
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)			
保護者の子育てと就労の両立を図る。	ア	利用者数/申込数	%	74.4	79.6	79.3	85.0		
	イ								
	ウ								

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (29年度決算)	② コストの推移	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(計画)	
○だいたい病後児保育室 委託料(愛耕福祉会):4,909千円、その他施設管理等:439千円 ○みとや病後児保育室 委託料(社会福祉協議会):4,407千円、その他施設管理等:106千円 ○掛合病後児保育室 委託料(社会福祉協議会):1,965千円、その他施設管理等:58千円	財源内訳	国庫支出金	千円	3,657	3,738	4,345	5,058
		県支出金	千円	3,657	3,738	4,345	5,058
		地方債	千円	900			
		その他	千円	338	589	431	747
		一般財源	千円	2,701	4,209	2,763	5,058
	事業費計(A)	千円	11,253	12,274	11,884	15,921	
人件費	正規職員従事人数	人	4	2	1		
	延べ業務時間	時間	445	400	320		
	人件費計(B)	千円	1,742	1,587	1,305		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	12,995	13,861	13,189		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
保護者の就労形態の多様化により、保育に対するニーズも多様化の傾向にある。近年の経済情勢や雇用情勢により、児童雇用の休暇所得が困難な状況にある。平成27年度から始まった子ども子育て支援新制度により、この事業に係る国基準等の改正、見直しははかられた。	保育ニーズに対応するため国規準に基づき実施している。登録児童数が増加傾向あり、大東、掛合(定員各2名)の2か所のみでは申込に対し受入が困難となることがあったため、平成27年度新たに三刀屋地区に施設を整備し(定員2名)、平成28年度より受入人数の拡大をはかっている。平成30年度から、大東の施設を病児対応型にし、サービスを拡充した。	H27年度三刀屋町内に病後児保育室を整備し、H28年度より市内3カ所病後児保育室を開設することとなったが、H26年度に実施した子ども・子育て支援事業ニーズ調査では、「病児施設」を利用したいと思った人が約3割(28.9%)であった。「病児施設」の利用ニーズもあり、平成30年度から「だいたい病後児保育室」を「だいたい病児・病後児保育室」とし病児保育を開始し、定員も4名へ拡充した。

事務事業名	病後児保育事業	所属部	子ども政策局	所属課	子ども政策課
-------	---------	-----	--------	-----	--------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	平成29年度にだいたい病後児施設改修を行い受入定員を拡大した。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	利用者の負担増、子育てと就労の両立支援につながらない。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		他に類似事業はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
評価 の 総 括	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		国の示す実施基準に基づいている、国改正による対応はある。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
評価 の 総 括	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		既に委託しており、市の監理下で実施している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
評価 の 総 括	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		市内すべての乳幼児から小学6年生までの児童が対象である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
今までは2施設(大東、掛合)において事業実施してきたが、利用ニーズが高まる中、利用希望者すべての受入は困難な状況であったため、平成27年度に三刀屋において施設改修し、平成28年4月より三刀屋にて事業を開始した。これにより、木次、三刀屋エリアでの受入が可能となった。また、平成30年4月より、だいたい病後児保育室を病児対応とすることとしている。				

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		●	×																						
	低下		×	×																						
・子育てと就労の両立するために、病児・病後児のニーズが高まっている傾向にある。 ・近年では病児の受入ニーズが特に高まっている。 ・H27年度中に三刀屋健康福祉センター内の一室を改修して病後児保育室を新設し、平成28年度から運営をはじめた。 ・平成30年度よりだいたい病後児保育室を病児保育室とし開設し、定員を2名から4名へ拡大した。当面は住民ニーズを注視し、今後の方向性を見極めたい。		廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																								